

令和7年度事業計画書 <グループホーム白楽荘みくにの里>

テーマ：ICTの導入により、働き甲斐のある職場づくりを行い、安全・安心あるサービスの提供と質の高いケアを目指す

サブテーマ：ケアソフトを効果的に活用し、業務の効率化を図り、利用者サービスを充実化する。

1. 認知症高齢者の人としての尊厳を守り、快適な共同生活を営むための介護支援を行う

①常に理念・方針を念頭に、個人の価値観や生活習慣を尊重し、より良いケアを実践する。

②安心安全な暮らしに努め、居室の見守りセンサーを活用し、夜間の安眠につなげる。

また、事故のリスクを減らし、巡視訪室の負担軽減を図る。

③利用者の異変を早期発見・対処手段の体制確保。みくにの森クリニックや医療機関等との連携を図り、入居者の健康管理・身体機能維持・精神の安定に努める。

2. 地域密着型サービス事業としての役割を遂行するため、安定した事業運営・人材育成を行う

①職員の資質向上・モチベーション維持のため、資格取得・研修会などの参加を促し、連続休暇で
有給取得の推進。日常業務の見直し改善や対話・面談を行いながら人材の安定を働きかける。

②認知症ケアの専門職員として特性を理解。心理・行動症状(BPSD)の要因・分析・対処方法
など、ケース内容に応じて随時、チーム内で情報を共有し、検討課題・対策解決に取り組む。

③利用者家族様との円滑な関係や地域住民との交流・行政機関などの協力体制を整える。

④事業継続計画(BCP)を基本に人命を優先した防災・災害への対応や感染対策など、定期的に
訓練を実施することで職員の意識を向上する。